



ダイヤ改正等にもなう 体制見直しの提案受ける

新潟地本は12月16日に団体交渉を行い、支社側より「モビリティ・サービス系統における体制見直しについて」の提案を受けました。将来にわたる環境の変化に対応するため、輸送の安全性向上と効率的な業務体制を実現し、更なる融合を推進すべく、業務体制の見直しを行うとしました。

3月16日のダイヤ改正に伴う体制見直しでは管理に変更は無く、庄内統括センターが一般の変形等で△1、長岡統括センターの乗務・日勤が△2、新潟統括センターで乗務・日勤△1、泊△3としました。新潟車両センターは4月1日実施で、一般の変形等を△1としました。

ダイヤ改正以降に組織・制度が見直されるため、一年間変わらない内容なのかを質すと支社側は、事業本部化を見据え、社員の活躍フィールドの拡大とサ

各統括センターで、駅と乗務員の業務融合を拡大するとしました。長岡統括センター乗務室では駅業務行路を追加すると共に、見習いを終えた乗務員は単独での列車扱い業務を行い、現在駅にいる社員はその時間で企画業務や他の業務を行う

業務融合の拡大について

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆

定するとしました。

支社側は駅業務の教育について、まだ途中であり一本立ちの時期は未定として、新潟駅の出勤数は減らさないとしていました。

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆

		改正				計
		変形等	交代	乗務員 日勤	泊	
庄内統括センター	管理	14	2			16
	一般	5	3	7	8	23
長岡統括センター	管理	32	2			34
	一般	54	6	17	28	105
新潟統括センター	管理	26	7			33
	一般	24	22	30	70	146
新潟車両センター	管理	11	1			12
	一般	46	2			48

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆

ダイヤ改正等に併せた実施事項について

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆

E129系車両の改造について

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆

羽越線いなほ号脱線事故 献花・慰霊 職場から鉄道の安全を 創り出す決意を新たに

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆



◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆